

■商品特徴



- ① “ふんわりデコルテ”：2005年『デコルテメイクブラ』のデコルテ演出力を進化
ストラップからカップの下側まで直接つながった“脇寄せパーツ”と、これまでの『LALAN』より、やや高めの位置についている安定感のあるワイヤーで、バストを持ちあげて、デコルテライン（鎖骨からバスト上部までの部分）をふんわりみせます。
- ② “ほっそり脇寄せ”：1998年『スレンダーブラⅡ』の着やせ機能を進化
ストラップからカップの下側まで直接つながった“脇寄せパーツ”は、伸縮性のないものを使用しているため、脇をしっかり押え、ほっそりみせます。
- ③ “パッド内蔵”：1949年『ブラパット』の発想を進化
 - ・A～Dカップ：
中心部分に厚みのあるパッドでボリュームをプラスすることで、ふんわりとした胸元をつくります。
 - ・E～Fカップ：
バストが、カップ下部分への入り込みがよくなるように設計された、立体成型のピタッとパッド（特許出願中）により、キレイにフィットします。
- ④ “しっかりキープ”：1992年『グッドアップブラ』の造形キープ力を進化
アンダー部分のテープを、反対側のカップのワイヤーフロント部分に、クロスさせてつないだ構造（“カーヴィクロス構造”）により、からだへの追随性を向上させることで、ふんわりとした胸元をキープします。
- ⑤ “ズレにくく段差を軽減”：2002年『Tシャツブラ FIT&FIT』の段差軽減機能を進化
バック部分の上辺のテープを幅広形状にすることで、着用時の段差を軽減します。
さらに幅広テープは極細繊維を使用しているため、肌に接する点が多く、密着性が高いので、3/4（4分の3）カップのときはもちろん、ストラップレスで着用するときにもズレにくくなっています。
- ⑥ “2way仕様”：1979年『フロントホック 夏』の2way仕様を進化
3/4（4分の3）カップのブラジャーなのに、ストラップを取りはずして、山型部分を肌側の収納ポケットにしまえば、ストラップレスブラジャーとしても使用できるので、さまざまなシーンに対応できます。